

児童発達支援支援プログラム



サポートセンターる・トレフル

(児童発達支援センター)

令和6年10月1日作成

1日のスケジュール

時間	項目	内容
9:30～	来所	登園、身辺整理、健康チェック、連絡帳確認
	自由遊び	
10:00～	始まりの会	日付、曜日、天気、名前の確認などを確認します 1日の流れをスケジュールを見ながら確認します
10:10～	指先遊び	個々のお子さんに合わせた課題を用意し活動します
10:30～		手洗い、水分補給、排泄
10:40～	運動遊び、リトミック	
10:50～	課題遊び①	
11:30～	昼食	食育に取り組みます 食前の排泄、手洗い、食後の片付けなど身辺自立を促します (親子通園の日は帰りの会、降園)
	帰りのしたく	排泄、着脱、帰りのしたく、水分補給、健康チェック
12:20～	帰りの会	スケジュールを見ながら1日を振り返ります
12:30～	降園	あいさつ

時間	項目	内容
13:30～	来所	登園、身辺整理、健康チェック
	自由遊び	
14:00～	始まりの会	日付、曜日、天気、名前の確認などを確認します 1日の流れをスケジュールを見ながら確認します
14:10～	指先遊び	個々のお子さんに合わせた課題を用意し活動します
		手洗い、水分補給、排泄
14:30～	運動遊び、リトミック	
14:50～	課題遊び②	年長児は就学を視野に入れた活動を取り入れます
15:30～	おやつ	おやつ前の排泄、手洗い、片付けなど身辺自立を促します
	帰りのしたく	排泄、着脱、帰りのしたく、水分補給、健康チェック
15:50～	帰りの会	スケジュールを見ながら1日を振り返ります
16:00～	降園	あいさつ

サポートセンター・トレフル 児童発達支援センター 支援プログラム

営業時間	毎週月～土曜日 9:30～12:30 14:00～16:00	
法人理念	『利用者』に希望と安らぎを』『職員』に笑顔とやりがいを』『地域』に感謝と貢献を	
支援方針	一人ひとりの子どもの特性や課題と向き合い、小集団や個別での経験を積み、大きな集団に移行できるようにしていきます。 子どもの「育ち」や「暮らし」が安定できるように、家族のサポートをします。 認定こども園等との併行利用や移行に向けた支援、就学に向けた支援等をおこないます。	
支援内容		
項目	ねらい	当事業所でのプログラム例
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善 生活習慣や生活リズムの形成 基本的な生活スキルの獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 準備・食事・歯磨き・排泄・着脱・手洗い・うがい・洗顔・片付け <p>※健康な心と体を育て、自ら安全な生活をつくり出せるよう支援します。</p> <p>基本的な生活スキルを獲得できるようにするほか、時間や空間をわかりやすく構造化します。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> スプーンでおもちゃをすくって容器に入れる。 ・ボタン通し ・ままごと 箸でおもちゃをつまんでお椀に移す。 検温 ・食器の使い方 ・手の洗い方 ・トイレトレーニング 健康増進のための散歩 ・体力向上を目的とした運動（屋外遊び） クッキング
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動、動作の補助手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動・・・姿勢・移動・身体づくり・ジャンプ・体操・リズム遊び（ダンス）・ボール 微細運動・・・つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・とおす・はる・ぬる・はめる・こする・描く・切る その他運動・・・身体ほぐし運動・多様な動きを作る運動（ツイスターなど）・マット・鉄棒 <p>走る・跳ぶ・登る・押すくぐる・引っ張る</p> <p>※体や感覚が活用できるよう支援します。姿勢の保持や運動・動作の改善を図るほか、補助用具などの手段が活用できるようにします。感覚の偏りに対する環境調整等の支援もおこないます。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 雑巾がけ ・手押し車 ・クモの巣遊び ・動物の真似をして歩く ・しっぽ取り ジャンプ ・転がしドッチボール ・リトミック ・風船バレー ・止まれオニ 粘土（小麦粉・片栗粉） ・新聞紙遊び ・ジェンガ ・ツイスター

本人支援	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知の特性についての理解と対応 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手がかりとなる概念の形成） ・行動障害への予防や対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体部位・色・比較（重さ・大小・長短など）・位置・分類・感情概念・図形・物の機能や属性音が変化する様子・数・空間・時間覚の概念の形成、認知や行動の手がかりとしての活用 ・五感の活用（製作・感触遊び・ゲーム）、動物・生活用具・食べ物などのカードを用いた物の名称の習得 ・危険なことと安全なことの理解 <p>※視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用して情報を収集し、行動につなげられるようにします。</p> <p>数や大きさ、色などの概念の理解を促す支援や、感覚、認知の偏りによるこだわりや偏食への支援もおこないます。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・箱積み ・色いろあつまれ ・ポーリング ・ブロック ・音当て ・パズル ・神経衰弱 ・食べたのなあに？ ・魚釣り ・貼って遊ぼう ・ペットボトル倒し ・形色かるた ・リバーシー ・〇×クイズ ・スリーヒントクイズ 	
	言葉 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・言語の受容と表出 ・言語の形成と活用 ・人と相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・コミュニケーション手段の選択と活用 ・読み書き能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、物の名称と言葉の一致、行動と言葉の意味の一致（絵カード・言葉カード・数カードなどの活用） ・相手とのコミュニケーションづくり ・身振り、手振り、言葉などで自分の思いを伝えられる環境作り <p>※言葉によるコミュニケーションだけでなく、文字や記号、ジェスチャーなどの様々な方法を活用しながら、意思の伝達がおこないやすい方法で支援をおこない、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりできるようにします。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・仲間集め ・フルーツバスケット ・椅子取りゲーム ・色オ二 ・ジャンプじゃんけん ・絵描き ・ペアを作ろう ・買い物ごっこ ・しりとり ・借り物競争 ・なぞり書き 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）の形成と安定 ・遊びを通じた社会性の発達 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関係づくり、支援者や友だちの模倣遊び、ごっこ遊び、小集団でのゲーム、ふれあい遊び ・事業所外での活動（散歩・公園・図書館・その他の公共施設） <p>※他者との関係構築や集団参加に向けた支援をおこないます。保護者以外の大人との関係やほかの子どもとの関わりのなかで、安定した関係が築けるようにします。</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ・砂場 ・プール ・ままごと ・ボール ・転がしドッチボール ・箱運び ・勝ち負けのある遊び ・図書館に行こう ・買い物ごっこ

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）の形成 ・家族からの相談に対する適切な助言等 ・障害の特性に配慮した家庭環境の整備 	<p>《アタッチメント（愛着）の形成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの信頼感を育み、家族や周囲の人と安定した関係を形成するための支援 <p>《家族からの相談に対する適切な助言等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ・こどもの抱き方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案 ・家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援 ・心理的カウンセリングの実施 ・保護者同士の交流の機会の提供 ・きょうだい同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助 <p>《障害の特性に配慮した家庭環境の整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングの実施 ・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供
<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等への移行支援 ・ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携 ・同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくり 	<p>《保育所等への移行支援、ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援（※） ・具体的な移行先との調整 ・移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達 ・家族への情報提供や移行先の見学調整 ・移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ・移行先への相談援助 ・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助（※） <p>《保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有（例：得意不得意やその背景、声掛けのタイミングやコミュニケーション手段の共有） ・併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整 <p>《同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育所等や子育て支援サークル、児童館、地域住民との交流 <p>（※）「移行」の視点を持った本人や家族に対する支援は、「本人支援」や「家族支援」と内容が重なる場合もある。</p>

<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通う保育所等や通う予定の学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議の開催 ・子どもを担当する保健師や、子どもが通う医療機関等との情報連携や調整 ・子どもに支援を行う発達障害者支援センターや医療的ケア児支援センター、地域生活支援拠点等との連携 ・子どもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携 ・虐待が疑われる場合には、児童相談所や子ども家庭センターとの情報連携 ・児童委員、主任児童委員等地域の関係者等との連携 ・個別のケース検討のための会議の開催
<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者・児童発達支援管理者向け研修 ・育成者向け研修・・・2～4年目研修 ①職員育成とOJT担当者研修 ②リスクマネジメントについて（応用） ③相談・苦情の対応 ④BCP（業務継続計画）について ・新卒・中途入職研修 ①障害福祉サービスの制度について ②障害について ③リスクマネジメントについて（基礎） ④地域生活支援・地域貢献活動について ・全職員向け研修 ①虐待防止に関する研修 ②身体拘束防止に関する研修 ②感染症に関する研修 ③事故防止に関する研修 ④防犯に関する研修 ⑤災害に関する研修 	
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①季節に関する行事・・・初詣、プール、氷絵具遊び ②工作に関する行事・・・町文化祭作品展示、季節ごとの製作 ③運動に関する行事・・・運動会・散歩・公園遊具遊び ④音楽に関する行事・・・マルシェ、クリスマス会 ⑤遠足など ⑥就学に関する行事・・・就学前相談会・学校見学 ⑦健康に関する行事・・・内科健診・歯科健診 	